

認定看護師について

認定看護師とは、ある特定の分野において熟練した看護技術と知識を有したスペシャリストです。水準の高い看護実践と、看護職員への指導・相談を行うことで看護ケアの質向上に貢献しています。

当院では、認定看護師資格取得の支援を行うと共に、それぞれ取得した認定資格を有効に活用できる職場環境を整えています。

～例えばこんな活動をしています～

- * 専門的な治療や看護が必要な患者さま・ご家族さまに対して最適な看護は何か、認定看護分野の専門知識に基づき判断し、実践します。
- * 他の看護師に対し、自らが手本となり専門知識や看護技術などを指導し水準の高い看護を行えるように働きかけたり、看護の現場で直面する問題や疑問の相談に乗り、改善策を導き出せるよう認定看護分野の専門知識に基づき支援します。

緩和ケア認定看護師

「緩和ケア」は生命を脅かす病を抱えているつらさや痛み、今後起こりうる苦痛を予測し早期に対応することでQOLを向上することを目指しています。

がん治療に対する苦痛や、治療の中止を告げられ将来への不安を抱えている方、食欲・体力が低下し生きる希望を失った方など、様々な痛みを抱えた患者さまとご家族に真摯に向き合いケアすることで、その方が望んでいることは何なのかを考え、残された人生が自分らしく生きられるように多職種で支援していきたいと考えています。

認知症看護認定看護師

認知症という状態や、症状を正しく理解することができれば、その人の行動の意味も分かり、決して特別なものではないことが理解できます。認知症になっても、その人らしく幸せに暮らす権利はあります。できないことを追い詰めていないか、追い詰めることになっていないかを振り返り、困難なケースであっても私たちに何ができるかを考え、可能な限り思いに沿えるよう他職種と協働し、認知症の方の「声」を大切に日々奮闘しています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

「食べる」とは、栄養補給・人生を送る上での楽しみ・（しっかり顎を動かして歯槽をタッピングするという側面から）脳神経の賦活化という側面を持っていると思っています。つまり、口から食べることは命の根幹であり、幸せなひとときを織り成す人生の要です。

だからこそ、口から食べることの意味を思い、食事を自力で安全に食べることが困難な人への理解を深めることが大切だと思います。

患者さん、そしてみなさんの大切なご家族の幸せをお守りするためにも、「食事サポーター」を一人でも多く増やし、幸せに食べ続けることができる社会となる様、みんなで力を合わせていきましょう！